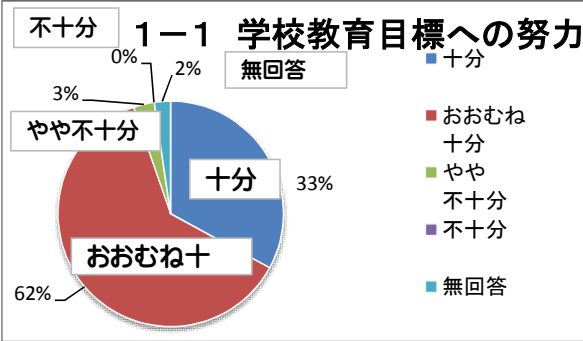




過日実施いたしました教育活動アンケートの結果を公表いたします。皆様からの貴重なご意見を今後の活動の参考にして参りたいと思っております。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

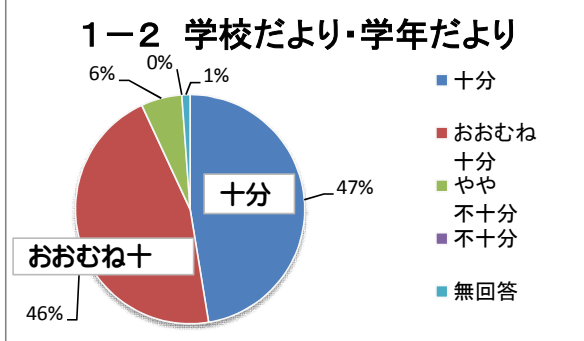
【学校について】

学校教育目標の「夢を抱きたくましく生き抜く人づくりをめざして」に向けて、学校は努力している。



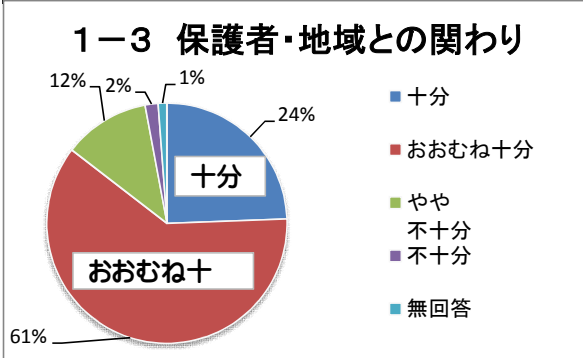
保護者会や学校便り、広報誌、HP等を通じて、学校教育目標やその取り組みについて説明しています。昨年同様、全体として高い評価をいただいております。引き続き本校の学校教育目標実現に向けて、より一層の努力をしていきたいと考えています。

学校だよりや学年だより・HPを通じて、学校の様子をわかりやすく伝えている。



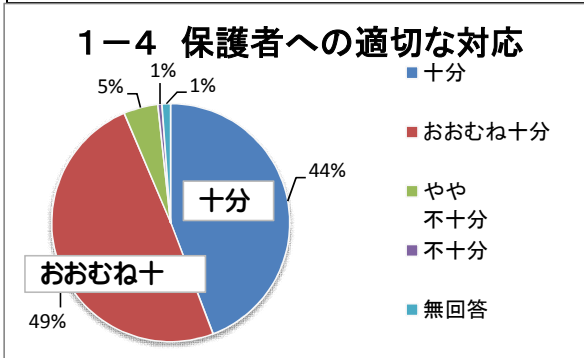
学校・学年・保健室だより等を月1回発行し、HPにも学校の様子をお知らせしています。週1回掲載している校長室だより・英語通信も2年目を迎え好評でした。今後も保護者・地域の皆様からのご理解を得られるように工夫して参ります。

保護者や地域の人と話す機会を多く持っている。



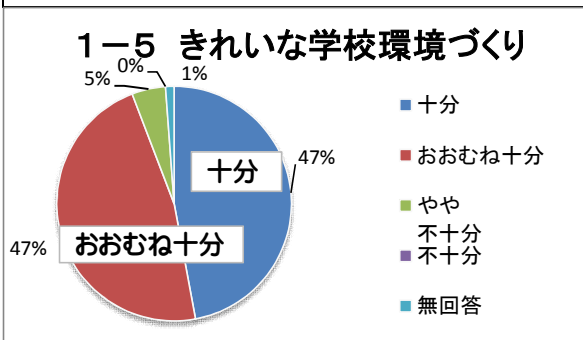
保護者会年3回、家庭訪問、個別面談、学校公開を設定しています。また、原山中学校区の交流会で地域の方のご意見も伺っています。学校行事への保護者の参加によりコミュニケーションの機会が改善されつつあります。

保護者からの連絡相談に対し適切に対応している。



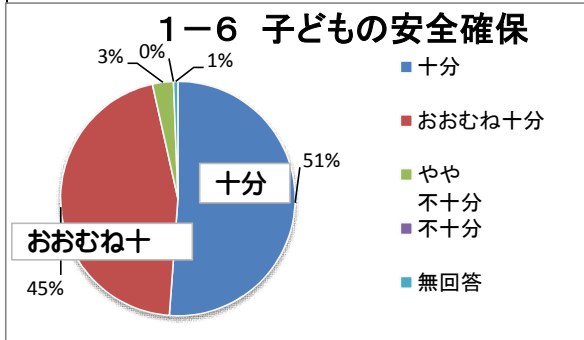
一人ひとりの児童理解に努めると共に保護者との連絡・相談にも真摯に取り組んで参りました。保護者の方々と連絡がなかなか取れにくいケースもございました。今後も、子どもたちの健やかな成長のために、誠意をもって対応していく所存です。

きれいで落ち着いた学校環境づくりに努めている。



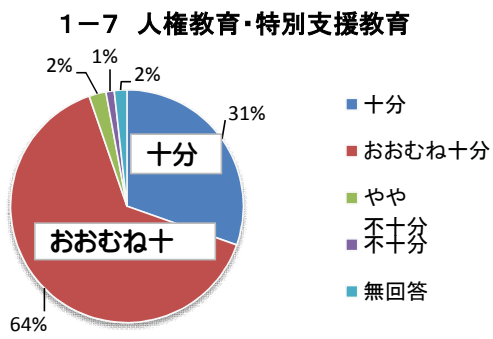
洋式トイレや体育館の改修など、施設・設備では改善された1年となりました。保護者の皆様には、きれいな学校環境づくりに対し、PTA奉仕作業へのご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。施設・設備につきましては今後も大切に使用し、不十分な点については改善に向けて努力して参ります。

子どもの安全確保に向けて努力している。



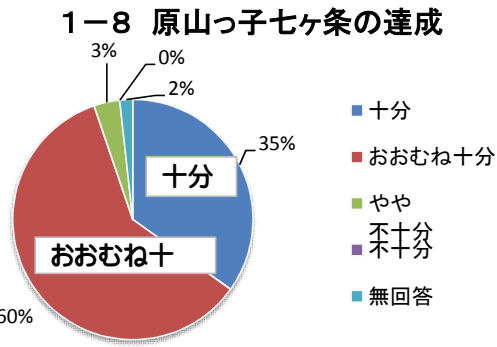
PTAの交通安全指導や日常的な校外パトロール、原山中学校区のパトロール・交流会など、お忙しい中をご協力いただきまして本当にありがとうございます。「十分」の項目は昨年に継続し好評価をいただきました。児童の安全確保に向けて意図的・計画的に取り組み、メール配信システムを活用した情報配信がスムーズにできるよう努めて参ります。

人権教育・特別支援教育について努力している。



毎週の道徳の時間や人権週間に、とても重要な人権やいのちの大切さ、思いやり等について、子どもたちがじっくりと考える時間をもてるようにしています。また、個々の児童に対し、細かな教育的配慮ができるよう、職員も様々な研修を行っています。必要に応じて関係機関との連携を密にしています。

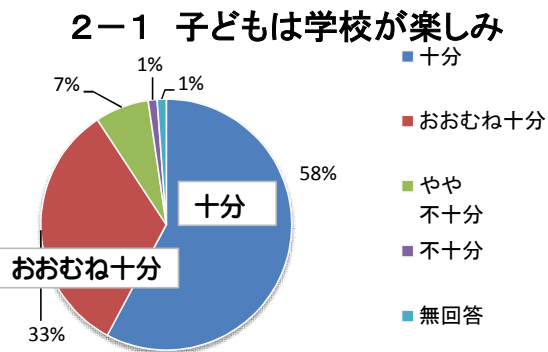
原山っ子七ヶ条の達成に向けて、学校は努力している。



「原山っ子七ヶ条」は、26年度より取り組んでおり、概ね子どもたちに浸透しています。七ヶ条は人と人のかかわりの根源であり、生きる力に結びついています。子どもたちの心を育てる取組として、今後も継続していきます。

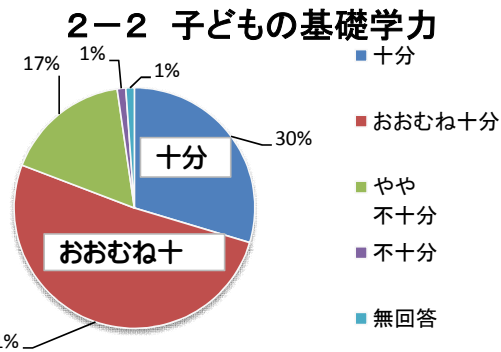
【児童・教師について】

自分の子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。



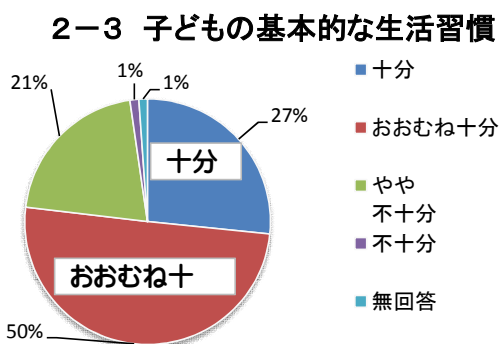
昨年の調査に比べ、「十分」「おおむね十分」と回答いただいたご家庭が2ポイント増えました。一人一人の児童が、自己肯定感を高め、楽しく学校に登校できるよう、魅力ある学校づくりをめざして、職員が一丸となって子どもに寄り添う指導を心がけていきます。

自分の子どもは基礎学力が身についている。



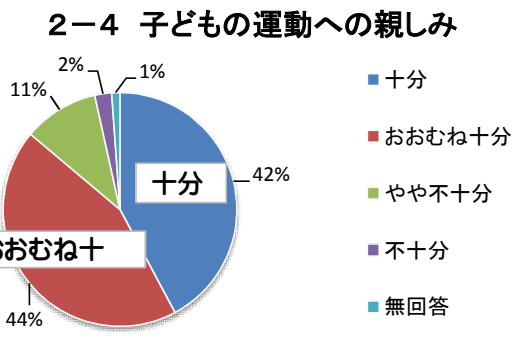
毎朝のきりりタイムで漢字や計算のドリル学習を計画的に行い、基礎基本の充実に努めています。また、子どもの興味・関心を高められる学習教材の開発や個に応じた指導にも、全校で取り組んでいるところです。本年度も、原山っ子ノートの活用のすぐれた児童に校長賞を授与し、家庭学習の意識付けの一助としました。家庭学習の習慣をしっかりと身に付けさせたいと考えています。

自分の子どもは基礎的な生活習慣が身に付いている。



毎日の挨拶や黙働清掃等を励行しています。来校者に対して積極的に挨拶をしたり、目上の方に対してきちんと敬語で対応したりできる子どもが年々増えています。しかし、「やや不十分」と回答いただいたご家庭が11ポイント増える結果となりました。基本的な生活習慣は、社会生活を営む上ですべての基本となります。学校と家庭・地域が一つになって、引き続き指導していきたいと考えます。

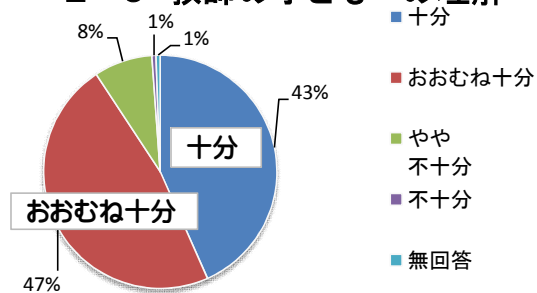
自分の子どもは、運動に親しみ体力づくりに励んでいる。



体育の授業や、陸上・相撲・駅伝などの課外活動の充実を図り、年々参加児童が増えています。運動会、マラソン大会、長なわ大会等の学校行事の活性化にも努めています。今年度も、運動能力証を取得した高学年児童が増えました。今後も運動を通して多くの子どもたちに、スポーツへの興味・関心を高めるために努力して参ります。

教師は、子どもに適切に対応し、よく理解してくれている。

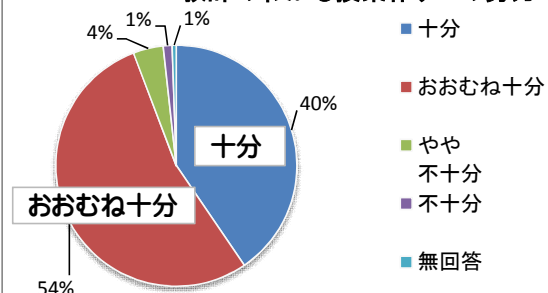
2-5 教師の子どもへの理解



子どもたちとの触れ合いを大切に、児童理解に努めて参りました。また、子どもたちの悩みに応えるために相談箱を設置したり毎学期の心のアンケートを実施したりしています。「十分」「おおむね十分」という回答は昨年より3ポイントと増えました。今後とも引き続き一人一人の子どもへの理解に努めて参ります。

教師は、わかる授業づくりに努めている。

2-6 教師のわかる授業作りへの努力



学習の目標・ねらいを明確にし、子どもたちの学習意欲を高めるために教材の工夫や評価のあり方を検証し、わかりやすい授業づくりに努めています。学習コンテンツの活用、体験的な学習を工夫し、思考力・判断力・表現力の育成にも努めています。子どもたちの道具の忘れ物がないよう、ご家庭でもご指導願います。